



**市民対話集会**

**みんなであらう**



**私たちの地域医療**

～ 二つの公立病院を残すためには ～

# 病院とは

## 病院

医師や歯科医師が疾病や疾患を持つ患者に医療を提供する施設で、病床数が20以上の入院施設を有するもの

## 診療所

病床が無床もしくは、19以下の入院施設を持っているもの

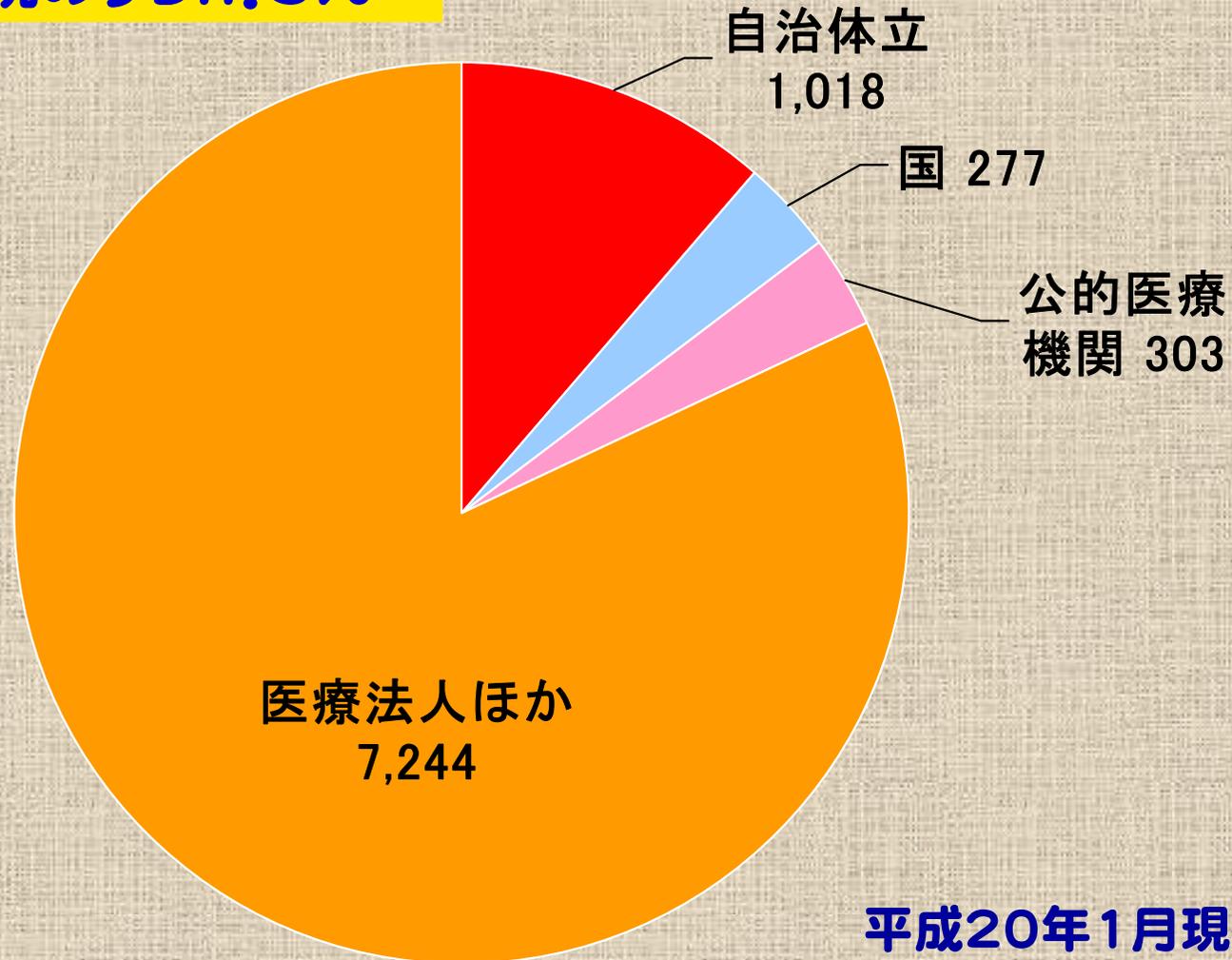
# 公立病院の役割

地域において提供されることが  
必要な医療のうち、採算性等の  
面から民間医療による提供が  
困難な医療を提供することにある。

(公立病院改革ガイドライン抜粋)

# 全国の病院に占める自治体病院の割合

8,842病院のうち11.5%



平成20年1月現在

## へき地医療拠点病院 252



## 救命救急センター 209



## 地域災害医療センター 528

その他 290

自治体立 238

## 地域がん診療連携拠点病院 304

その他 191

自治体立 113

# 自治体病院の経営原則

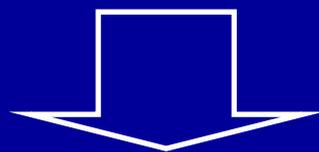
## 1 経済性と公共性の調和

- 地方公共団体が運営する病院事業は公営企業に位置づけられる。
- 地方公営企業は **公共の福祉を増進** する見地に立って運営されなければならない。また、**最小の経費で最大の効果** を挙げるようにしなければならない。

## 2 独立採算制の原則と経費負担区分

### 独立採算制

地方公営企業はサービスを提供し、それに要する費用を料金として回収する。

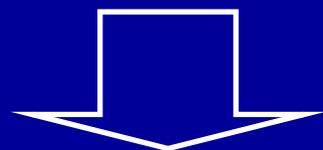


民間企業と同じ

## 2 独立採算制の原則と経費負担区分

### 経費負担区分

経済活動は民間企業と同じであり、  
独立採算が原則



公共的な見地から、不採算であっても  
行うものについては、地方公共団体の  
一般会計が負担する。(繰入金等)

# 一般会計が負担する経費

## 総務省通知による繰出基準

救急医療、保健衛生行政事務、リハビリテーション医療、高度医療機器等、元利償還金、建設改良費、研究研修費、児童手当、共済追加費用、基礎年金拠出金ほか

# 自治体病院・損益収支の状況

単位:百億円

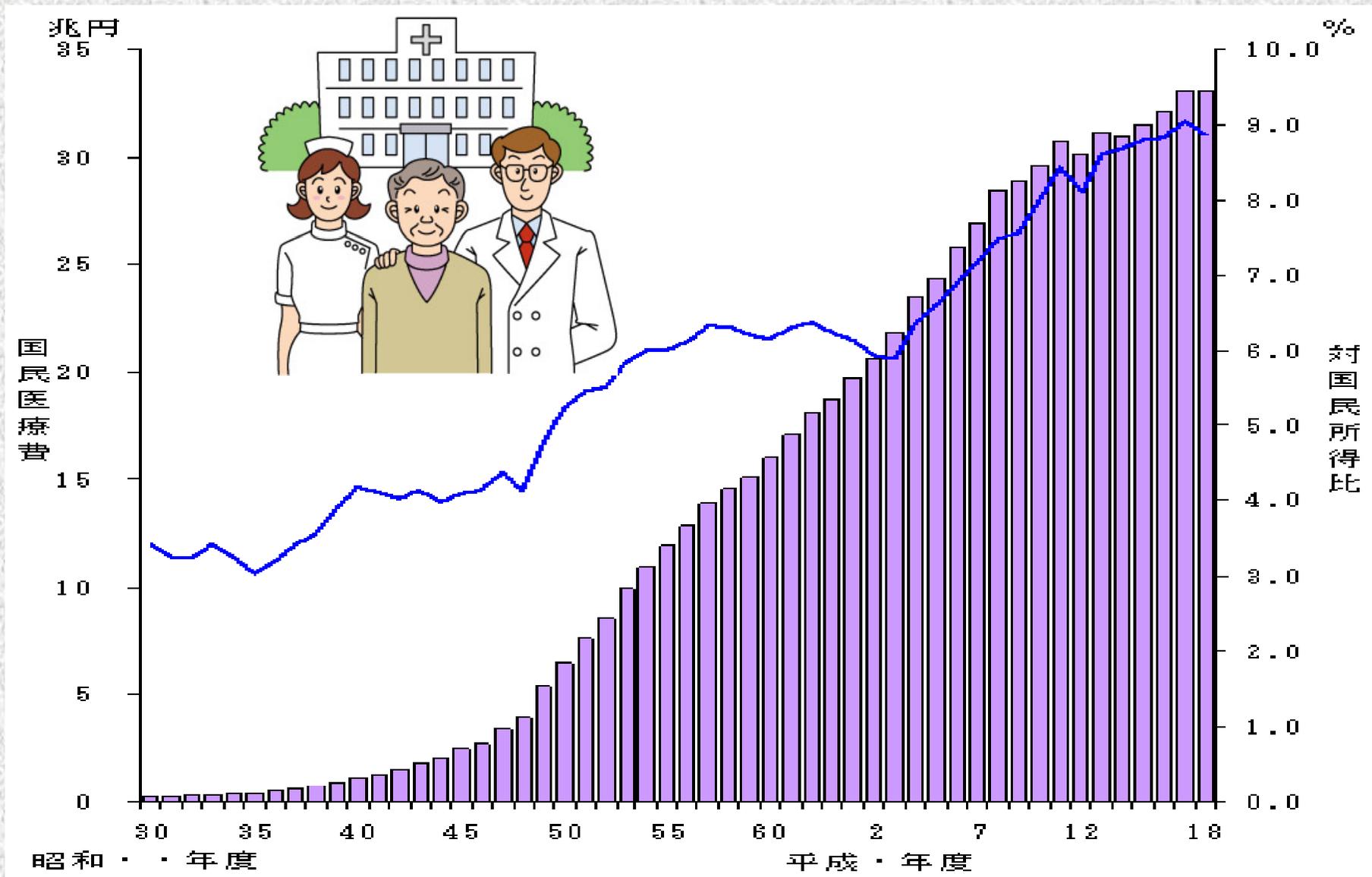
	H15	H16	H17	H18	H19
総収益	420	416	415	401	403
総費用	430	428	430	421	422
経常損益	▲9	▲13	▲14	▲20	▲20
累積欠損金	162	168	178	187	200
経常損失病院	61.1%	65.4%	65.5%	74.5%	72.2%

# 自治体病院・病院数の増減

	H15	H16	H17	H18	H19	
病院数	1,003	1,000	982	973	957	
増加数	4	1		9	5	
減少数	8	4	18	18	21	
(内訳)	統合	1		4		
	廃止	1	1	2	2	
	診療所化	1	1	5	5	10
	民間譲渡	1	2	5	4	5
	その他	4		2	9	4

# 自治体病院をめぐる経営環境

# 国民医療費と国民所得比



# 国民医療費の増加

## ◆国民医療費

約16兆円(1985年) → 約32兆円(2003年)

## ◆国民1人当り

13万2千円(1985年) → 24万7千円(2003年)

医学の進歩とともに、人口に占める高齢者割合  
が増大



国民医療費の伸びが国民所得の伸びを上回る

# 国民医療費の抑制政策

## ●患者の自己負担増

国の負担減 → 患者の受診控え

## ●診療報酬の引下げ

総医療費の減 → 医療機関の収益減

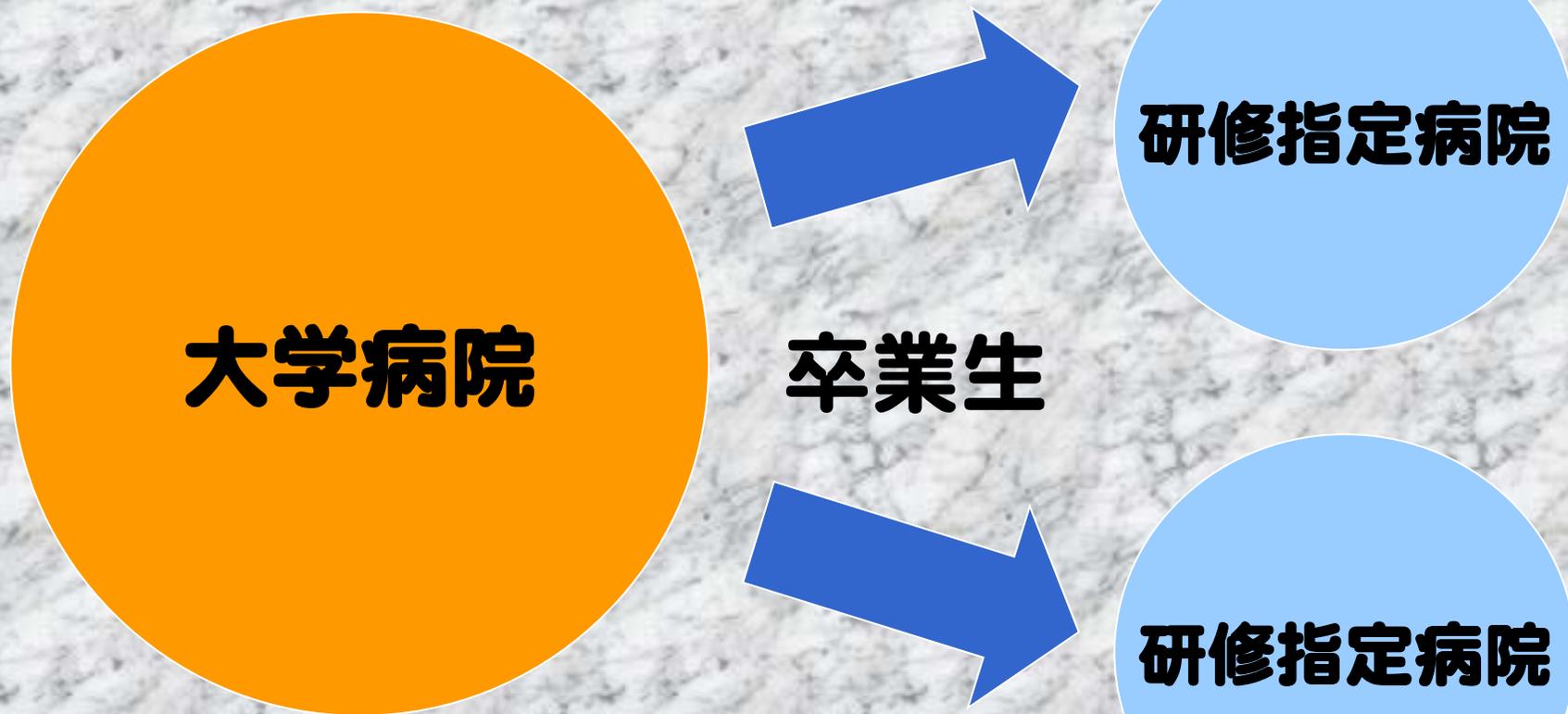
# 勤務医不足・偏在化

## 平成16年 新臨床研修制度

医師としての基本的能力を高めるため、卒業後2年間は、指定を受けた専門的研修病院での研修を義務付け

内科、外科、救急(麻酔含)、小児科、産婦、精神、地域医療の7科を研修

# 大学以外の病院を選ぶ卒業生が増加



自由に研修指定病院を選択が可能  
(マッチング制度)

# 大学病院は医師が不足



公立病院に派遣していた中堅医師を引き上げ

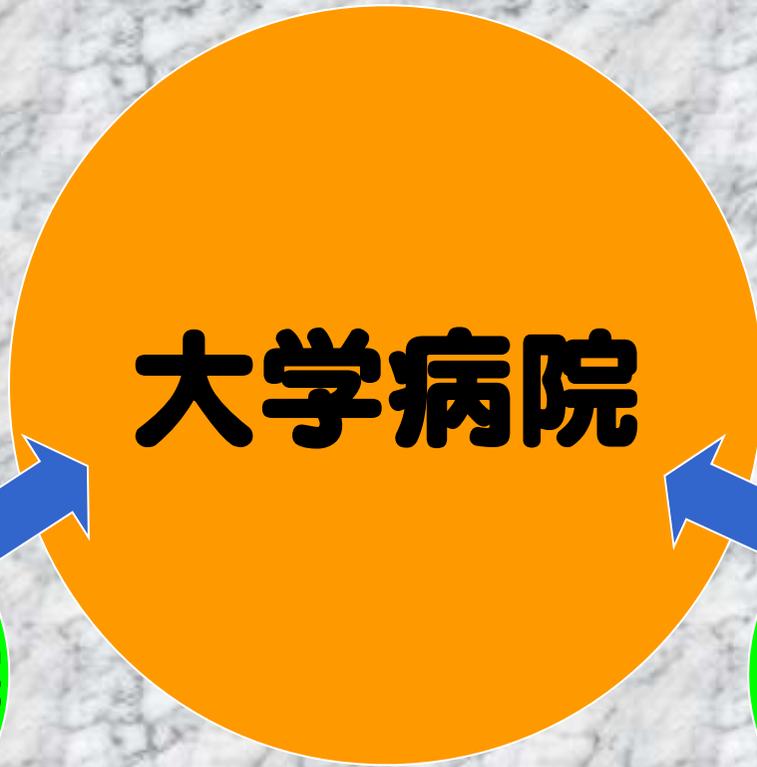
中堅医師

大学病院

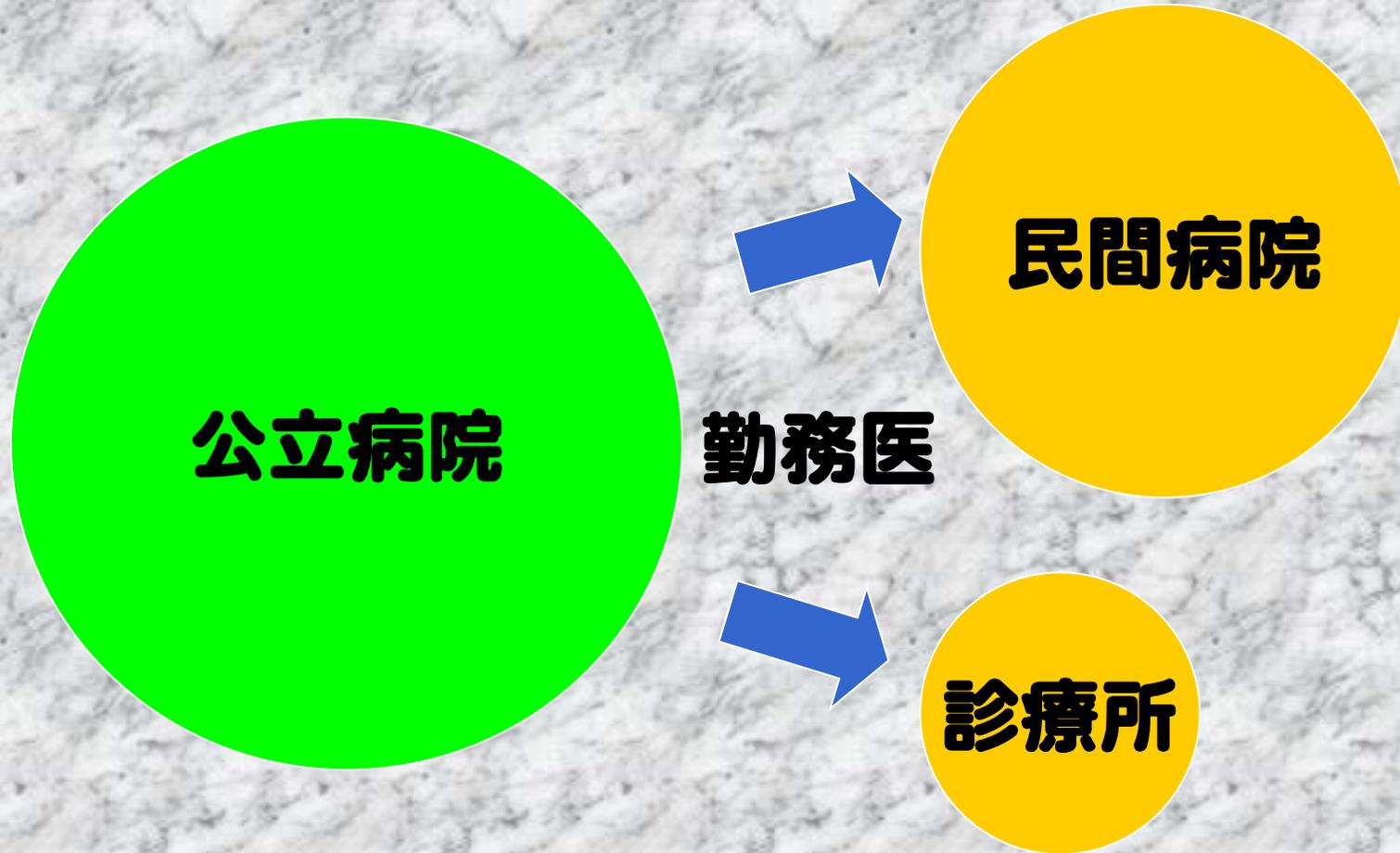
中堅医師

A公立病院

B公立病院



# 公立病院の勤務医減少



医師数の減少により残された勤務医の負担が増加  
→ 連鎖的に公立病院を退職

# 医師不足に対する国の施策

## ●大学医学部の定員増

H19年度 7,625人

H20年度 7,793人(168人増)

H21年度 8,486人(693人増)

H22年度 8,855人(369人増)

## ●新臨床研修制度の見直し

研修医の募集定員に地域別の上限を設定

# 山口県の研修医採用実績

平成15年	平成19年	平成20年
93人	67人	57人

※ 厚生労働省医政局医事課調べ

# 光市病院事業の現状

# 光総合病院

昭和26年10月	光市民病院として開設
昭和60年3月	病棟増改築
現在	210床(一般病床210床)  内科、外科、皮膚科、小児科、 整形外科、婦人科、耳鼻咽喉 科、眼科、泌尿器科、脳神経 外科、麻酔科、神経科、リハビリ テーション科



# 光総合病院の主な役割

- 地域の中核病院

光市の中核病院として2次医療を担う

- へき地医療拠点病院

牛島診療所への医師派遣

- 救急医療

周南医療圏における救急医療対応

# 光総合病院の主な役割

## ●小児医療

小児の入院医療対応

## ●高度・先進医療

民間医療機関で実施できない高度・先進医療の提供

## ●特殊部門

増加が見込まれる人工透析医療の提供

# 大和総合病院

昭和24年9月	大和国保病院として開設
平成13年4月	南館、本館増改築
現在	280床 (一般220床、療養60床)  内科、外科、小児科、整形外科、 産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、 麻酔科、放射線科、歯科口腔外 科、リハビリテーション科



# 大和総合病院の主な役割

## ●地域の中核病院

大和地域を中心とした地域の中核病院として  
1次・2次医療を担う

## ●救急医療

周南及び柳井医療圏における救急医療対応

## ●小児医療

小児の外来医療対応

## ●産科

診療所の後方施設として病院の産科部門

# 大和総合病院の主な役割

## ●高度・先進医療

民間医療機関で実施できない高度・先進医療の提供

## ●療養病床

長期療養に対応する病床

## ●予防医療

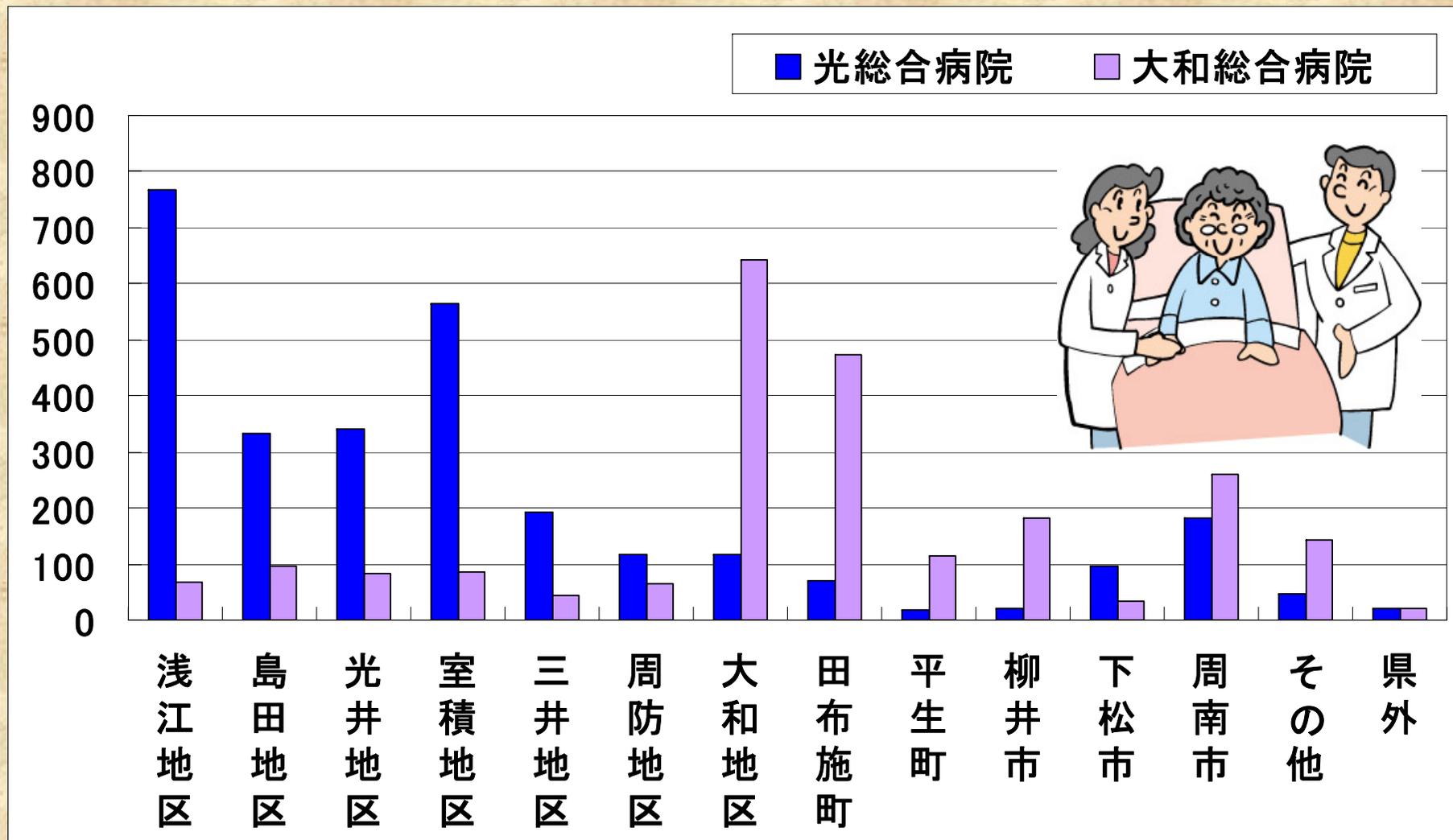
検診機能の充実による予防医療の提供

## ●地域包括医療の提供

地域への医療・保健・福祉の総合的、一体的な提供

# 病院別地域別入院患者数

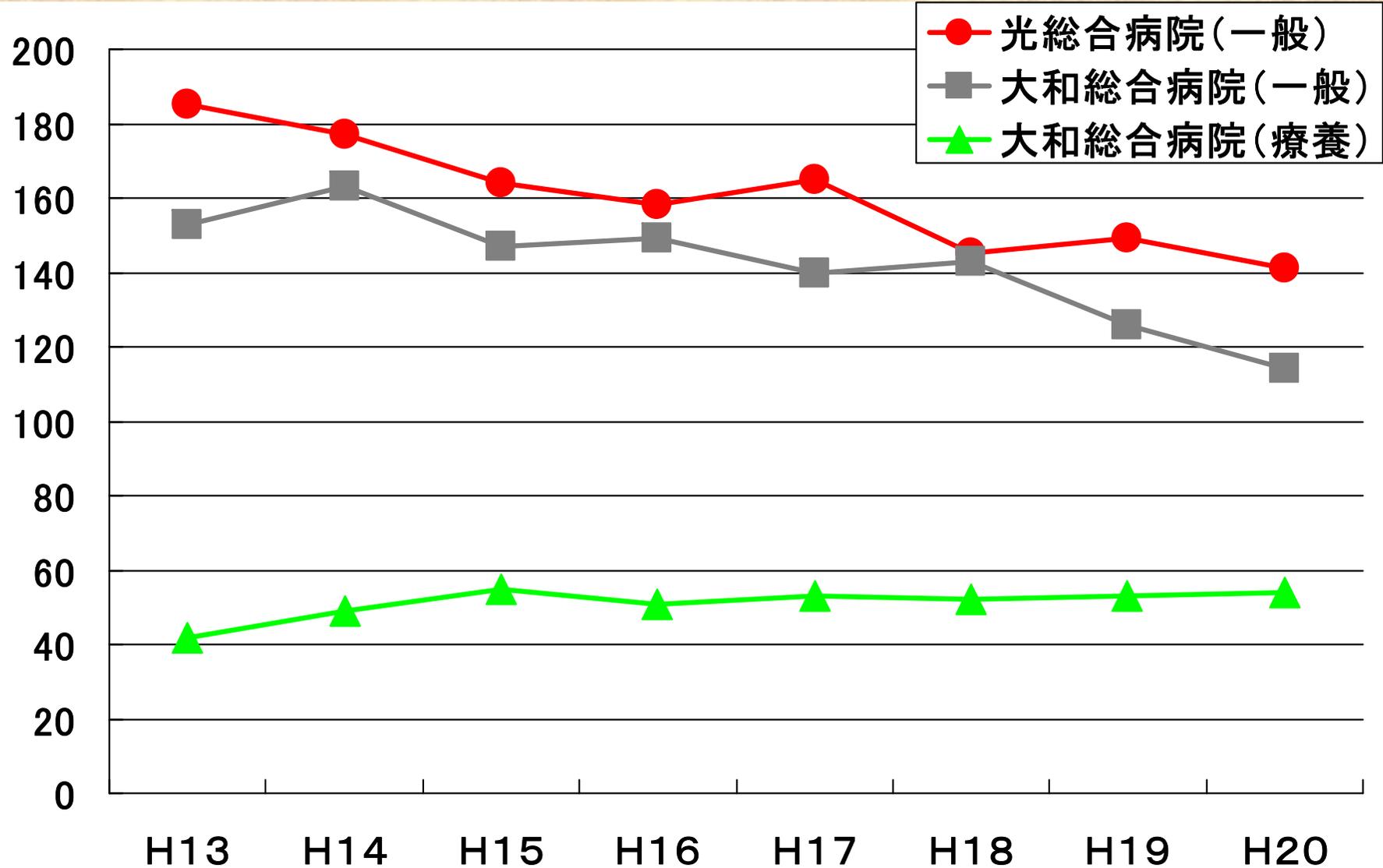
(単位:人)



出典: 光市病院事業整備計画

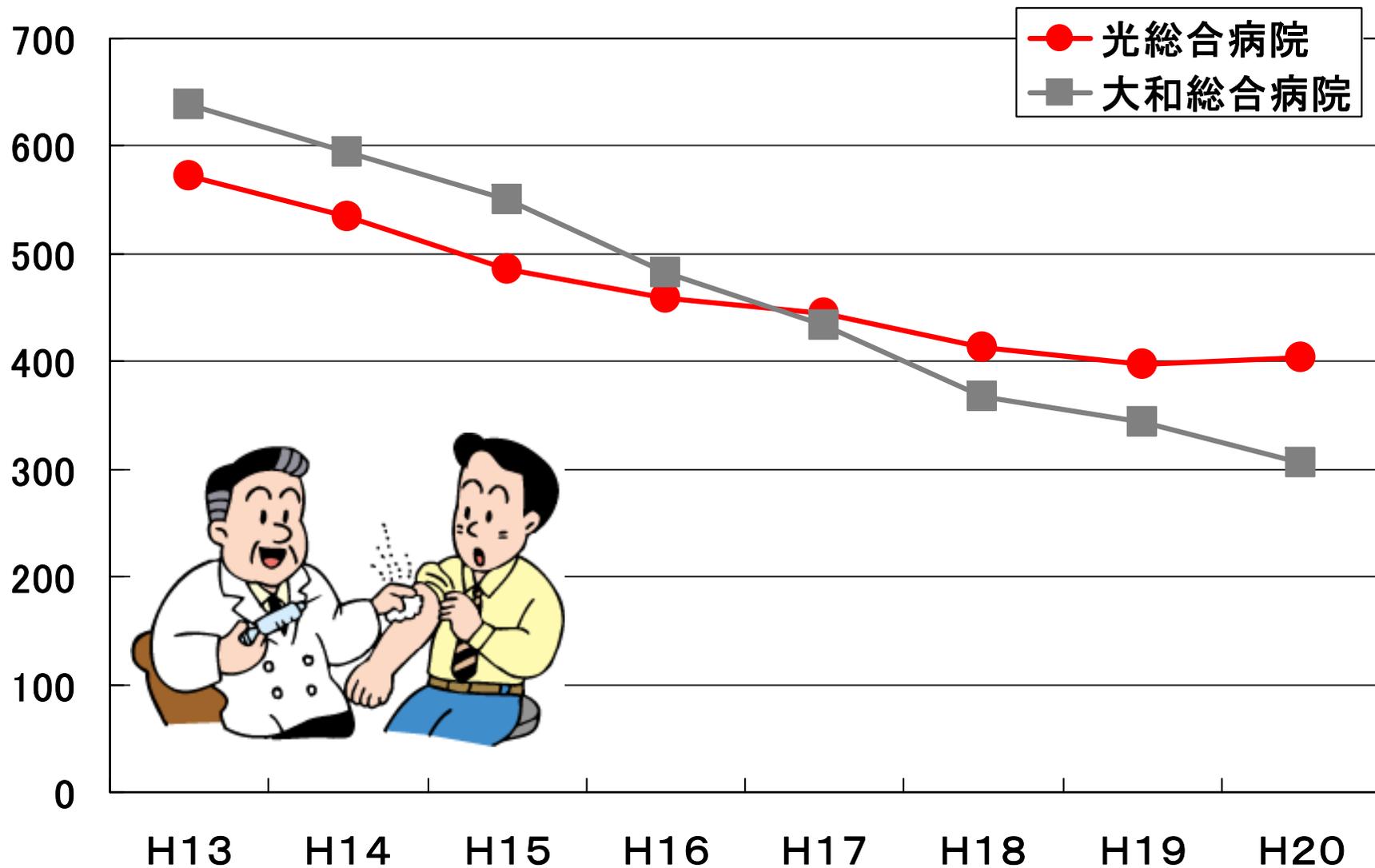
# 1日平均入院患者数の推移

(単位:人)



# 1日平均外来患者数の推移

(単位:人)



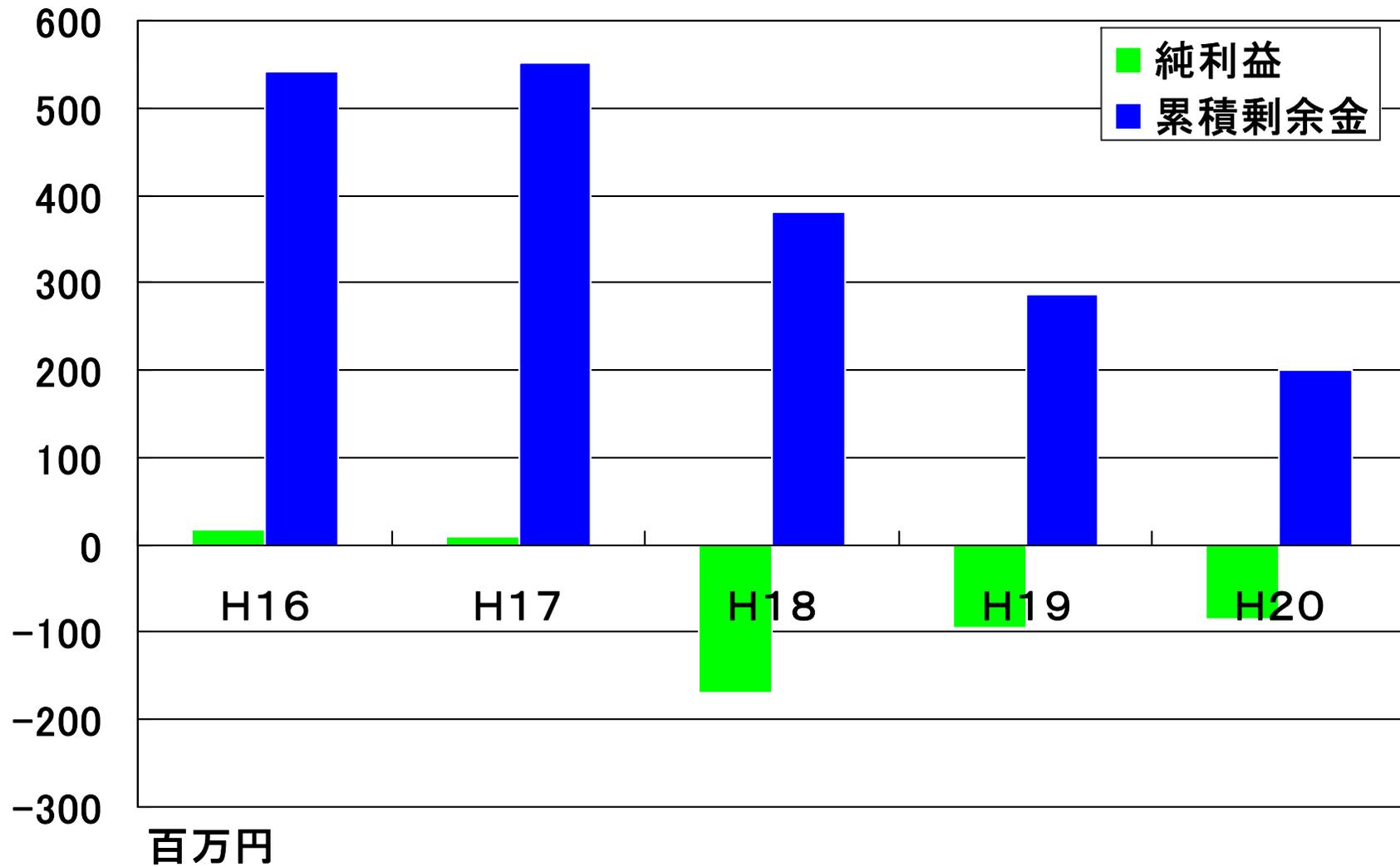
# 平成20年度光総合病院決算見込

(単位:億円)

収 益		費 用	
入院収益	17.5	給与費	16.2
外来収益	9.4	材料費	6.4
その他医業収益	1.7	経費	4.6
負担金交付金	1.2	減価償却費	2.5
その他	1.0	支払利息	0.4
		その他	0.6
計	29.9	計	30.7

収益 - 費用 =  $\Delta 0.8$ 億円

# 光総合病院収支状況



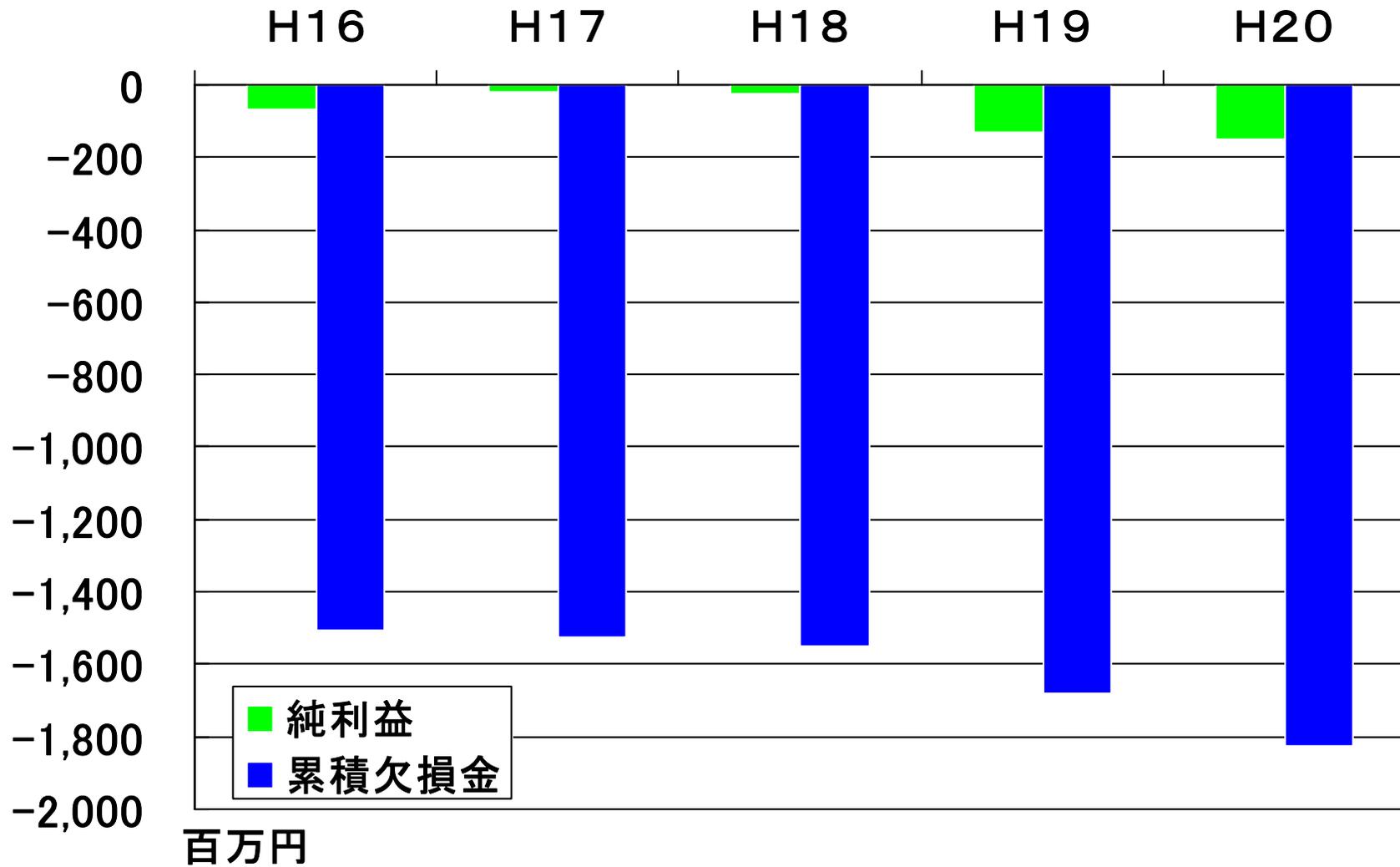
# 平成20年度大和総合病院決算見込

(単位:億円)

収 益		費 用	
入院収益	15.8	給与費	16.0
外来収益	7.1	材料費	5.4
その他医業収益	1.9	経費	3.4
負担金交付金	1.3	減価償却費	1.9
その他	0.4	支払利息	0.4
		その他	0.8
計	26.5	計	27.9

収益 - 費用 = △1.4億円

# 大和総合病院収支状況



# 各種指標

## ●經常收支比率 (H19類似病院 93.2)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	100.5	100.3	94.6	97.0	97.2
大和総合病院	84.2	94.0	93.8	95.7	93.9

經常收支比率=經常費用／經常収益 100.0以上=經常黒字

## ●病床利用率 (H19類似病院 69.3)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	75.0	78.7	69.2	71.0	67.0
大和総合病院	71.3	68.8	69.5	64.1	60.0

病床利用率=年延入院患者数／年延病床数

光総合病院210床      大和総合病院280床

## ●職員給与費比率 (H19類似病院 56.9)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	52.1	52.5	57.3	55.7	56.6
大和総合病院	72.6	63.7	63.9	62.8	64.4

職員給与費比率＝職員給与費／医業収益

## ●患者1人1日当り入院収益 (H19類似 35,743円)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	29,286	31,464	31,280	32,140	34,050
大和総合病院	24,439	25,271	24,601	25,223	25,719

## ●患者1人1日当り外来収益 (H19類似 9,179円)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	7,340	7,828	8,135	9,308	9,596
大和総合病院	7,592	8,180	9,013	8,903	8,617

## ●預金残高

(単位:億円)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	24.8	22.5	22.0	19.1	19.0
大和総合病院	19.8	21.2	23.1	22.0	20.2

## ●起債残高

(単位:億円)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	24.0	22.3	23.5	20.9	17.2
大和総合病院	36.3	34.1	32.6	32.0	30.1

## ●一般会計繰入金

(単位:億円)

	H16	H17	H18	H19	H20
光総合病院	3.2	2.7	2.5	4.5	4.5
大和総合病院	2.7	3.0	2.9	3.2	3.1
合 計	5.9	5.7	5.4	7.7	7.6

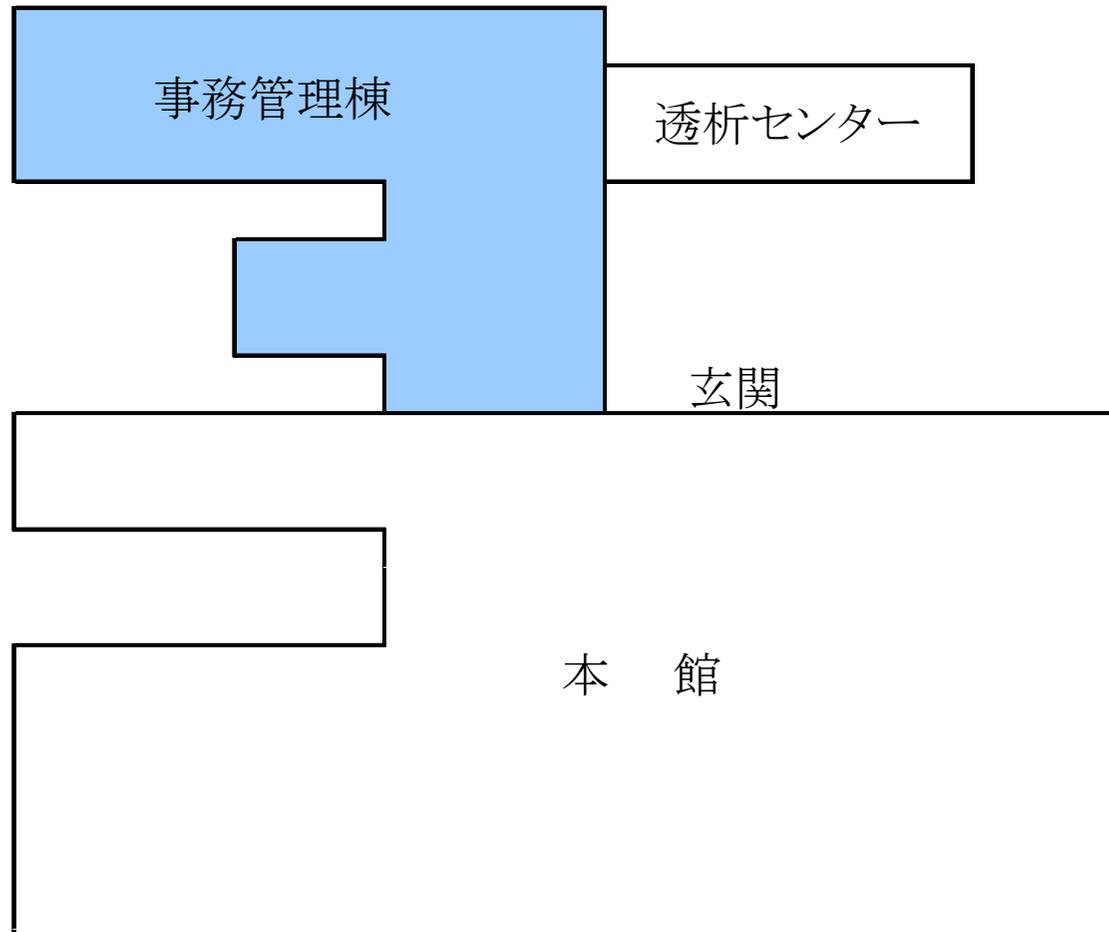
## ●常勤医師数

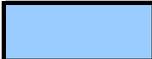
(各年4月1日 単位:人)

	H17	H18	H19	H20	H21
光総合病院	20	21	20	18	17
大和総合病院	20	17	17	16	16

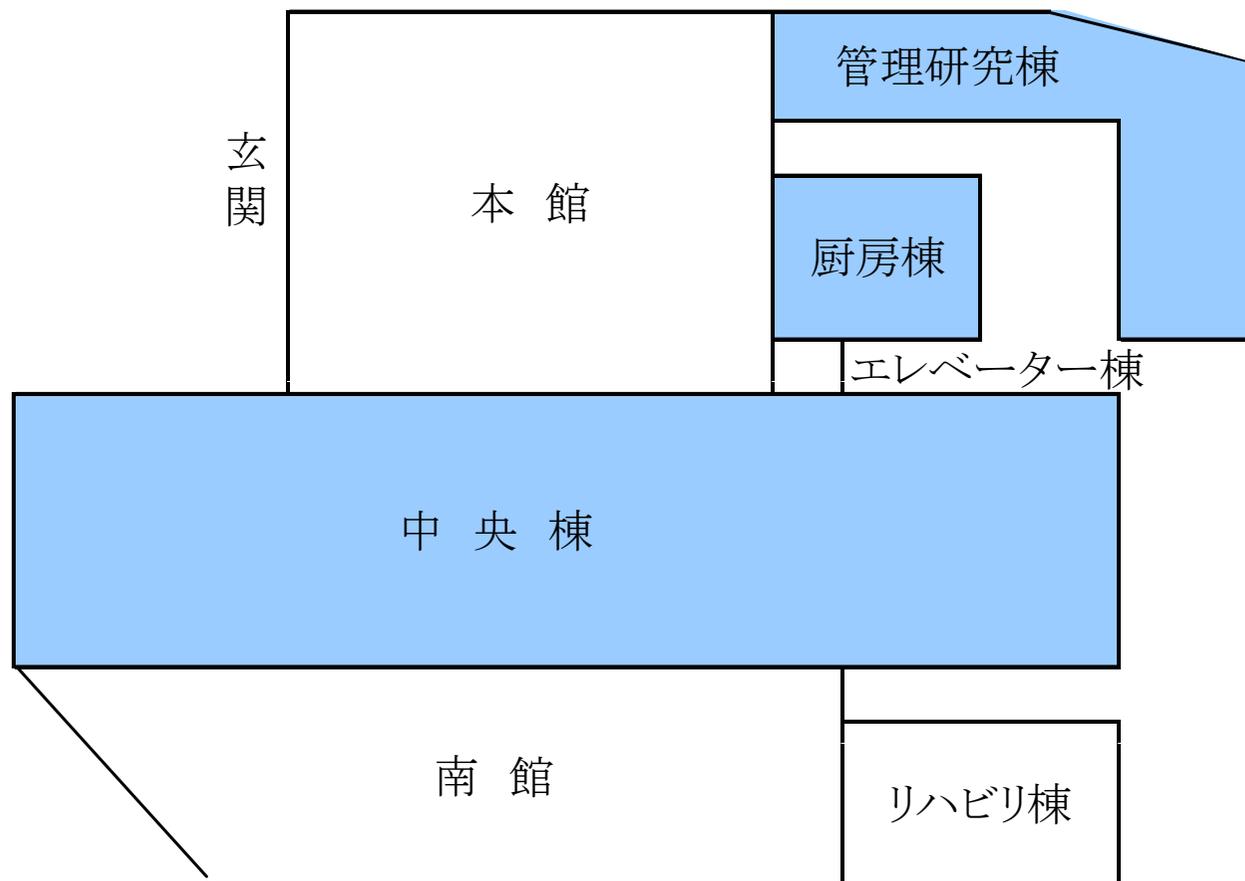
\*管理者を除く

# 施設の状況 (光総合病院)



 部分は昭和56年以前に建築した建物

# 施設の状況（大和総合病院）

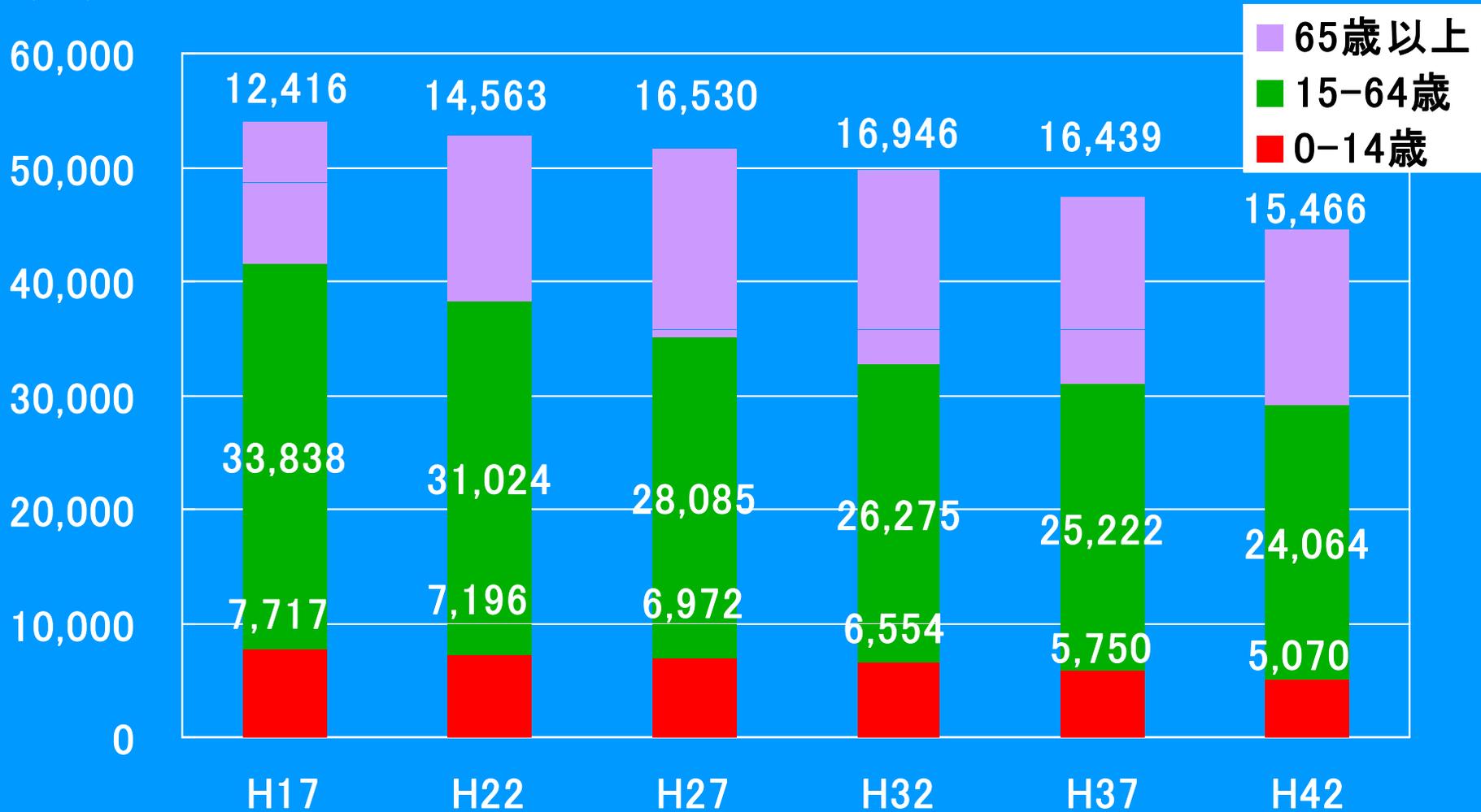


 部分は昭和56年以前に建築した建物

# 光市の医療需給動向

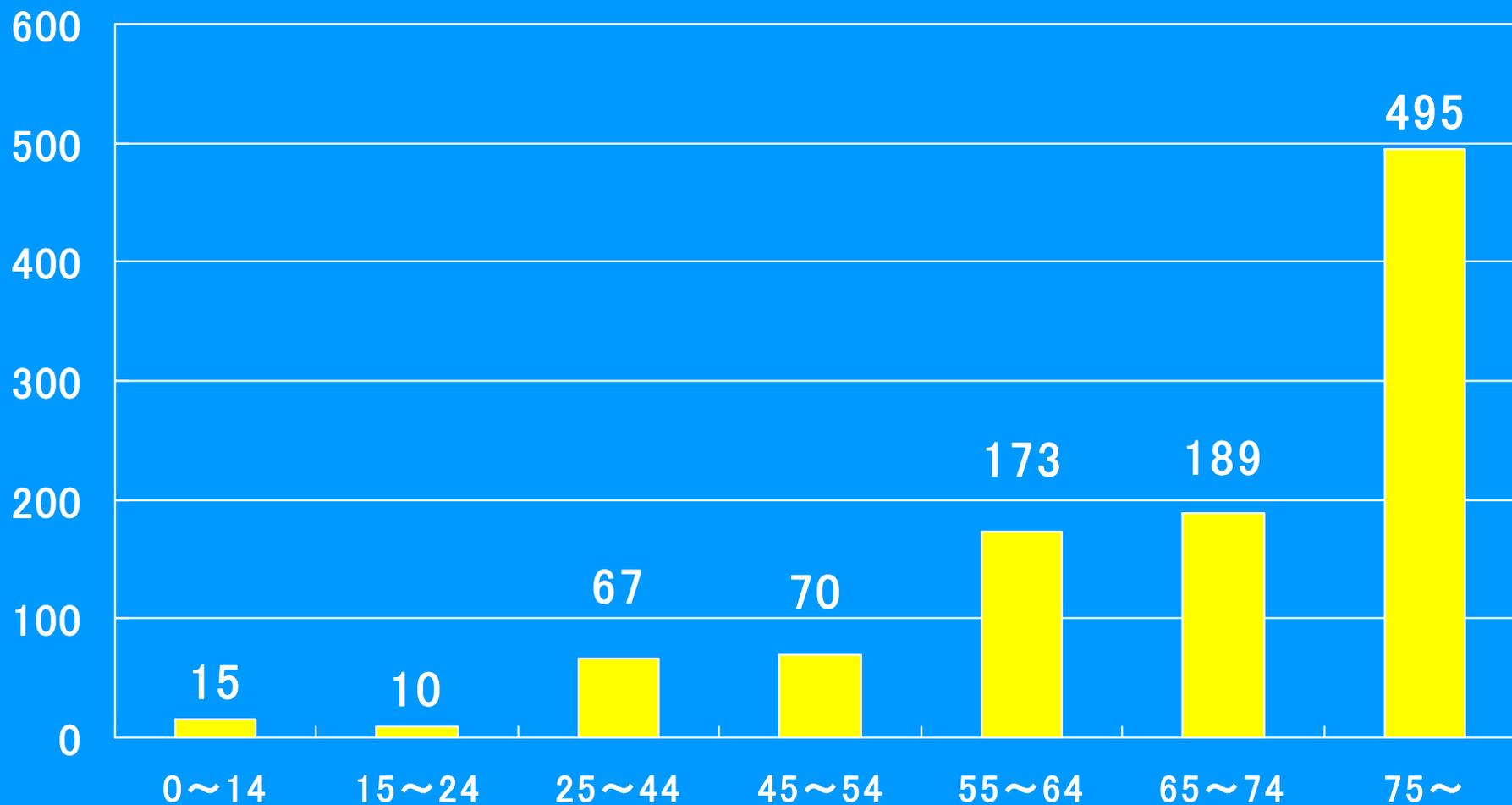
# 光市の人口動態

(人)



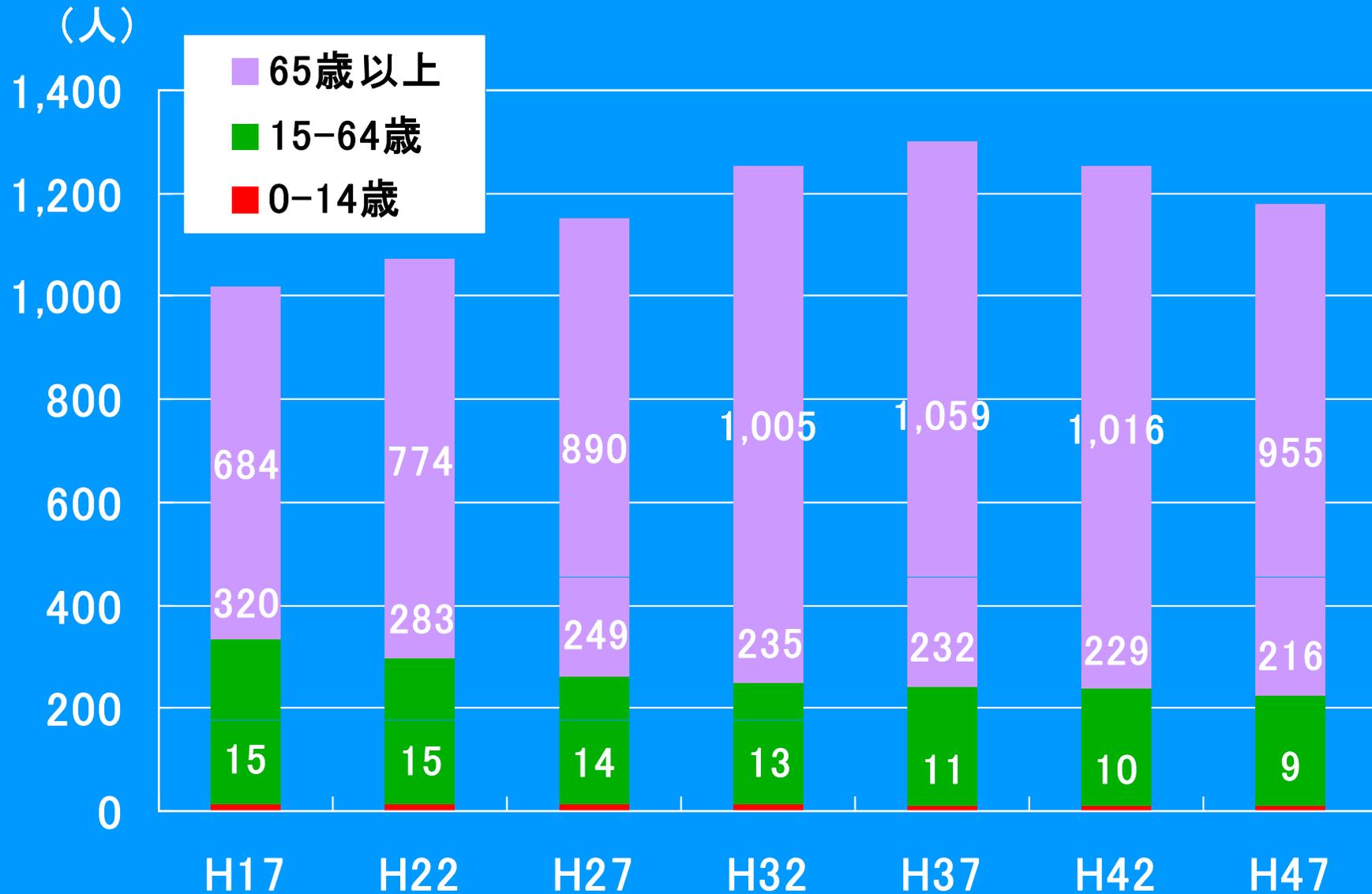
# 光市における1日当たりの推計入院患者数 (年齢階層別)

(人)

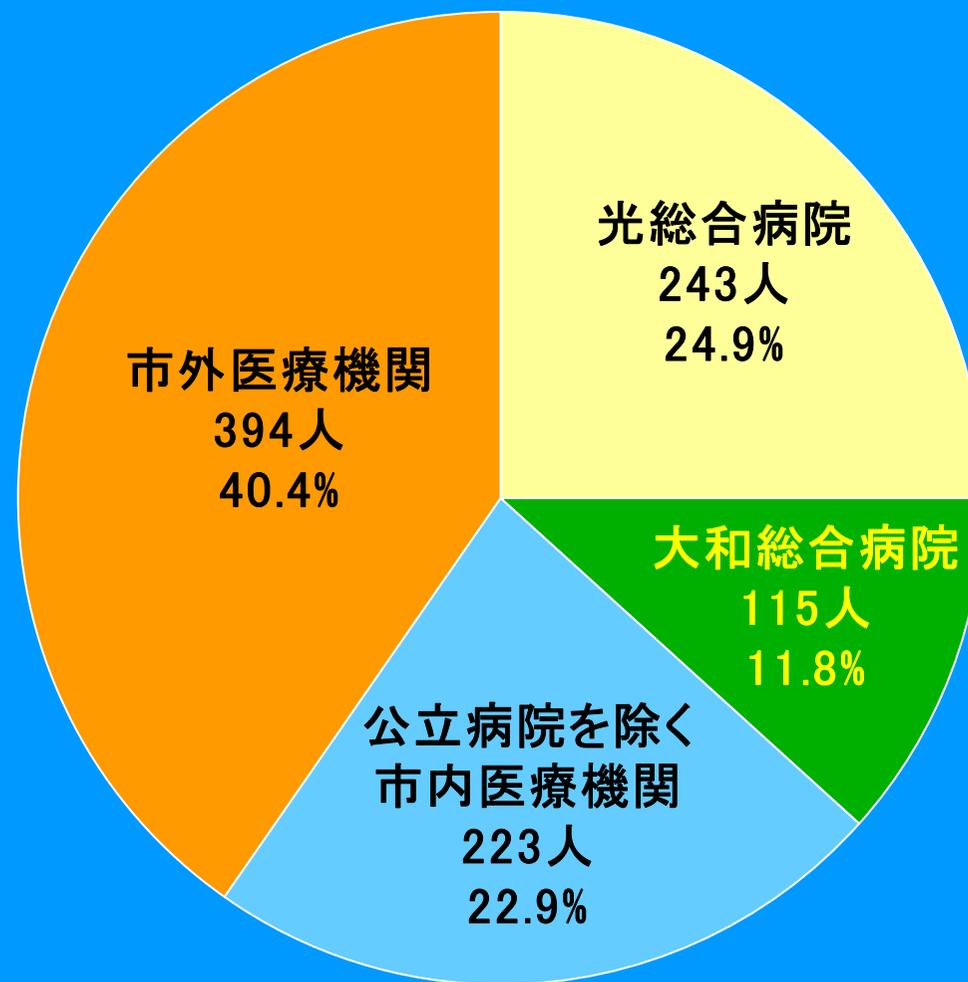


(歳)

# 1日当たりの推計入院患者数の推移

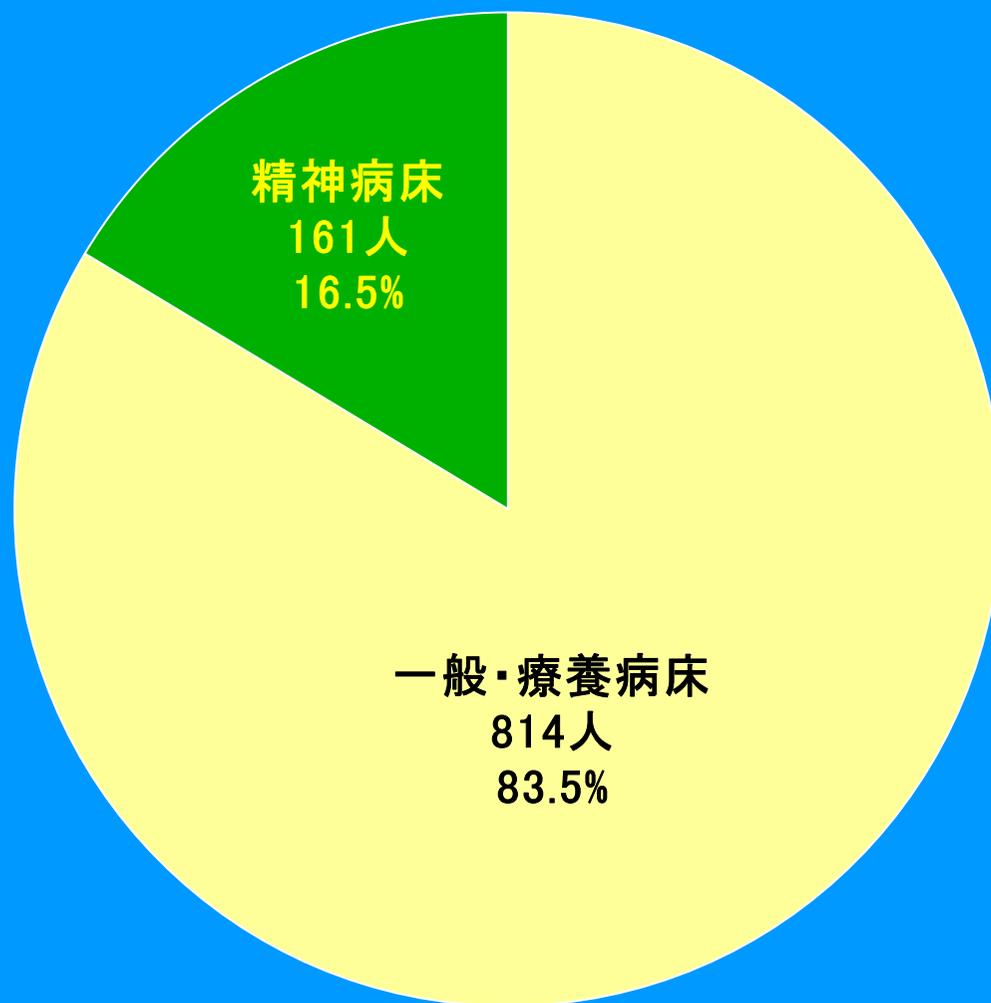


# 医療機関別実入院患者数（光市国保被保険者）



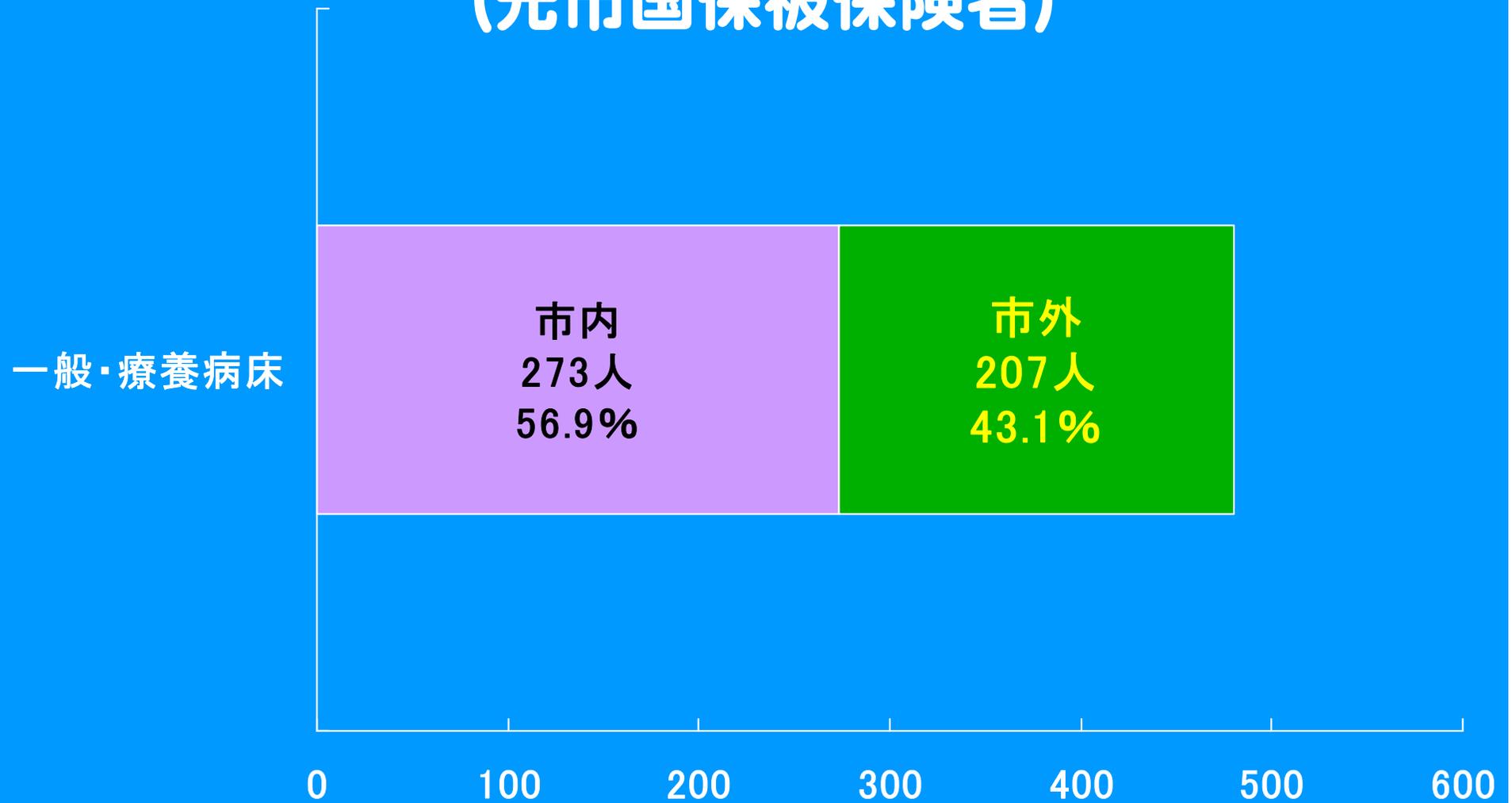
平成20年3月期

# 病床区分別実入院患者数（光市国保被保険者）



平成20年3月期

# 一般・療養病床 1日平均入院患者数 (光市国保被保険者)



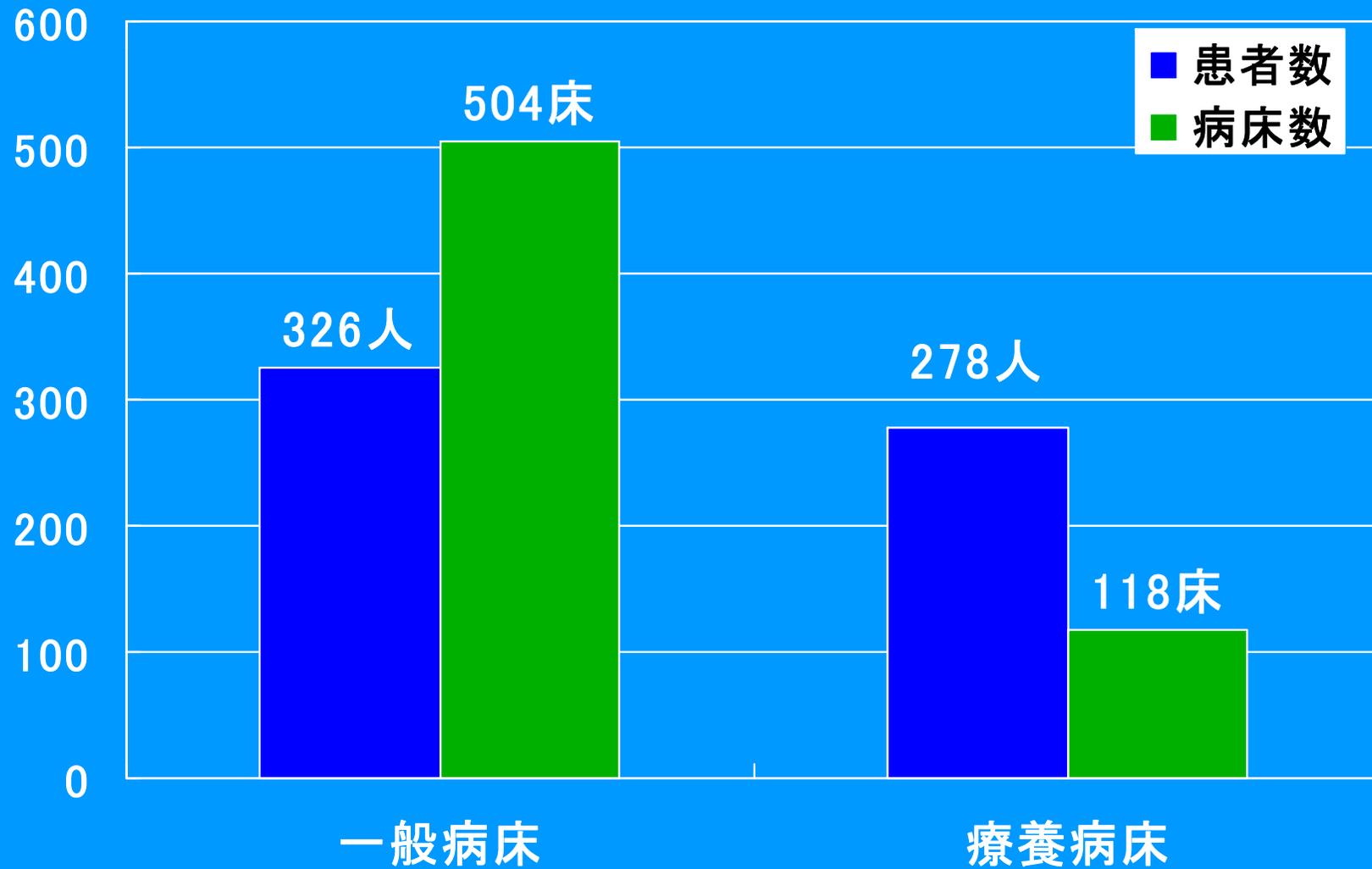
平成20年3月期

# 光市国保被保険者が入院する 市外医療機関(精神病床除く)

医療機関名	実人数	1日平均 患者数
社会保険徳山中央病院	103	52.2
光輝病院	36	35.4
周防病院	29	10.9
山口宇部医療センター	20	16.7
国立病院機構柳井病院	19	17.8
周南記念病院	14	9.9
周東総合病院	10	5.5

平成20年3月期 単位:人

# 光市の病院推計入院患者数と病床数



# 病院病床区分の状況 (人口10万人に対する病床数)

	一般病床	療養病床
山口県平均	808	667
周南医療圏	765	438
下松市	483	186
光市	951	223
周南市	802	606

# 光市病院事業の検討課題

- 今後光市に必要な医療とは  
(充実すべき医療機能)
- 今後、光市に必要な病床と規模は
- 医師が不足する中、人的資源を効率的に配置するには

# 光市病院事業の方向性

## 光市病院事業あり方検討委員会

山口大学医学部教授、医師会、税理士、  
医療管理学の有識者、地域住民からなる  
市長の私的諮問委員会を設置



2つの病院の存続を前提に、両病院の規模、  
機能等について検討し、市長に答申

# 方向性決定までのプロセス

諮問委員会  
答申

対話集会  
意見

議会の意見

市長

病院局  
福祉保健部  
財政担当部

最終方針案

市民  
議会

最終方針